

感染症シリーズ記事（1） 夏にはやる食中毒

気温が上がり、蒸し暑くなると腸管細菌感染症（細菌性胃腸炎）が流行します。これらはもともと汚染されている食品や管理不備が原因で汚染された食品を摂取して起こることが多いです。（食中毒）

食中毒を起こす細菌としては、腸炎ビブリオ（生の魚介類）、サルモネラ菌（鶏卵、食肉）カンピロバクター菌（鶏肉）、病原大腸菌（O-157など、牛肉や豚肉）、セレウス菌、黄色ブドウ球菌（おにぎり、乳製品）、ボツリヌス菌（蜂蜜）など数多くあります。この中で黄色ブドウ球菌、ボツリヌス菌などは細菌が出す毒素によって症状が現れます。

食中毒の症状は発熱、はきけ、嘔吐、下痢、腹痛などでサルモネラ菌やO-157、カンピロバクター菌などでは血便を伴うことが多いです。また汚染した食品を摂取してから症状が出るまで、多くは3～5日間かかります。（摂取細菌量によりもう少し短いこともあります）

食中毒ではないかと疑われたら、吐いたもの（吐物）や便を持って病院にかかるください。病院ではすぐに細菌検査を行い診断し、治療します。

予防は食品を加熱すること、長期間食品を保存しないこと（冷蔵庫の中でも細菌は死にません）が肝心です。また、まな板や包丁、調理する人の手指の汚染にも注意してください。

小児科（ICD） 有田耕司

育児相談のお知らせ

育児に奮闘中の保護者様へ
小児科病棟の看護師が育児相談をお受けしています。
日頃の育児でお困りのこと、不安なこと、疑問に思つ
ていることなど何でも結構です。
ご相談に応じます。どうぞお気軽にお越しください。



相談日 毎週木曜日 午後1時～4時
場所 小児科外来横（看板を掲げています）

小児科の時間外救急 診療の休診について

当院では、当面6月1日から毎週金曜日（祝日は除く）の小児科の時間外救急診療（16：55から翌朝8：30）を休診いたします。他の曜日は従来どおりです。
なお、当日金曜日の時間外小児科救急患者さまの受け入れ可能病院につきましては、電話等で当院にお問い合わせください。



安全で人にやさしい医療機器・治療法の紹介

体外衝撃波結石破碎治療（ESWL）のご紹介

Q 尿路結石とは

A 腎臓・尿管などにある結石を尿路結石といいます。

Q どのような症状が現れますか

A 通常、尿管結石の初期症状は激痛を伴います。この痛みは、結石が尿管を通るときの刺激等により、突然起ります。特に、結石が下腹部や横腹部にある場合は、急激に鋭い痛みを感じます。

Q 体外衝撃波結石破碎治療（ESWL）とは

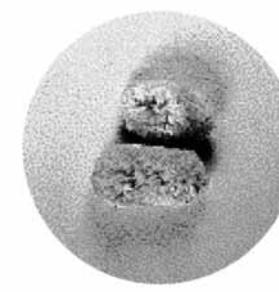
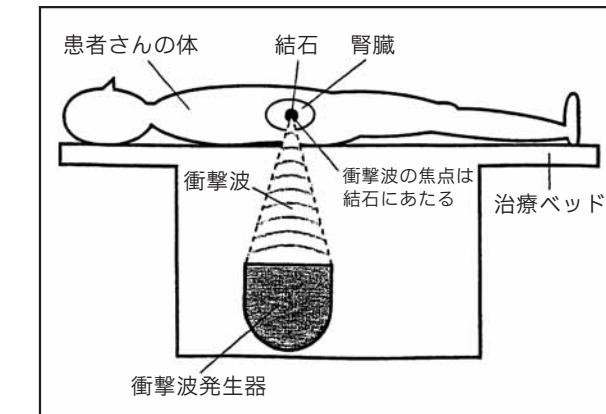
A 体外で発生させた衝撃波を集束させて、これを腎や尿管の結石に伝えて結石を砂状に破碎する治療法です。砂状になった結石は、尿の流れとともに自然に体外に排出されます。

わが国でも既に多くの方々がこの治療を受けており、その安全性は広く確認されています。

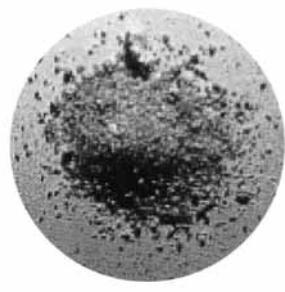
Q 体外衝撃波結石破碎治療（ESWL）の利点は

A

- ・低侵襲性（体への負担が少ない）治療法の代表として、患者さまにも広く受け入れられています。
- ・新しく開発された衝撃波発生技術により、結石の破碎効果が高く、治療時間がさらに短縮されました。
- ・衝撃波発生器のデザイン改良により、患者さまの痛みを軽減しました。
- ・小さな腎・尿管結石の場合、通院でも治療を受けることが出来ます。
- ・治療ベッドに寝たまま治療が受けられます。



手術によってとり出された
腎臓結石



衝撃波治療によって砂状に
なった腎臓結石